

第6期【償還】

運用報告書(全体版)

農業・食糧関連オープン

【2016年10月17日償還】

受益者の皆様へ

平素は格別のご愛顧を賜り厚くお礼申し上げます。

皆様の「農業・食糧関連オープン」は、2016年10月17日をもちまして信託約款の規定に基づき、繰上償還となりました。ここに設定来の運用経過及び償還内容のご報告をいたしますとともに、皆様のご愛顧に対して改めてお礼申し上げます。

今後とも、弊社ファンドに対しまして、一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。



〒104-0028 東京都中央区八重洲2-8-1

お問い合わせは弊社カスタマーサービス部へ

フリーダイヤル ☎ 0120-048-214 (営業日の9:00~17:00)

[ホームページ]

<http://www.okasan-am.jp>

※アクセスにかかる通信料はお客様のご負担となります。
※機種により本サービスをご利用いただけない場合があります。



当ファンドの仕組みは次の通りです。

| | | |
|--------|---|--|
| 商品分類 | 追加型投信/内外/資産複合 | |
| 信託期間 | 2011年3月31日から2016年10月17日(当初2021年3月5日)までです。 | |
| 運用方針 | 農業・食糧関連株マザーファンドおよびアグリカルチャー・インデックスマザーファンド(以下、マザーファンドといいます。)の受益証券を主要投資対象とし、投資信託財産の成長を図ることを目指して運用を行います。 実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。 | |
| 主要投資対象 | 当ファンド | マザーファンドの受益証券を主要投資対象とします。 |
| | 農業・食糧関連株マザーファンド | 日本を含む世界の取引所上場の株式(DR(預託証券)を含みます。)を主要投資対象とします。 |
| | アグリカルチャー・インデックスマザーファンド | ブルームバーグ・アグリカルチャー(農作物)インデックスの円換算後の騰落率に価格が連動するユーロ円建て債券を主要投資対象とします。 |
| 投資制限 | 当ファンド | マザーファンドの受益証券への投資割合には制限を設けません。外貨建資産への実質投資割合には制限を設けません。 |
| | 農業・食糧関連株マザーファンド | 外貨建資産への投資割合には制限を設けません。 |
| | アグリカルチャー・インデックスマザーファンド | 投資信託証券への投資割合は、投資信託財産の純資産総額の5%以下とします。 |
| 分配方針 | 毎年3月5日(休業日の場合は翌営業日)に決算を行い、原則として、以下の方針に基づき、収益分配を行います。 分配対象収益の範囲は、繰越分を含めた経費控除後の配当等収益と売買益(評価益を含みます。)等の全額とします。 繰越分を含めた経費控除後の配当等収益には、マザーファンドの配当等収益のうち、投資信託財産に帰属すべき配当等収益を含むものとします。 分配金額は、委託会社が分配可能額、基準価額水準等を勘案のうえ決定します。分配可能額が少額の場合や基準価額水準によっては、収益分配を行わないことがあります。 | |

○設定以来の運用実績

| 決算期 | 基準価額 | | | 株組入比率 | 債券組入比率 | 純資産総額 |
|--------------------------|--------------------|--------|--------|--------|--------|--------------|
| | (分配落) | 税金配分 | 騰落率 | | | |
| (設定日) 2011年3月31日 | 円 10,000 | 円 — | % — | % — | % — | 百万円 3,544 |
| 1期(2012年3月5日) | 8,751 | 0 | △12.5 | 47.8 | 48.3 | 939 |
| 2期(2013年3月5日) | 10,339 | 200 | 20.4 | 45.2 | 46.5 | 431 |
| 3期(2014年3月5日) | 11,184 | 200 | 10.1 | 42.7 | 47.9 | 273 |
| 4期(2015年3月5日) | 11,506 | 200 | 4.7 | 47.7 | 47.3 | 418 |
| 5期(2016年3月7日) | 9,808 | 0 | △14.8 | 43.5 | 48.1 | 222 |
| (償還時) 6期(2016年10月17日) | (償還価額) 9,229.99 | — | △5.9 | — | — | 178 |

(注) 基準価額および分配金(税引前)は1万口当たり、基準価額の騰落率は、分配金(税引前)込みです。

(注) 設定日の基準価額は1万口当たりの当初設定元本額です。設定日の純資産総額は当初設定元本総額です。

(注) 当ファンドは、特定の指数を上回るまたは連動する成果を目指した運用を行っておりません。そのため、特定のベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

(注) 当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、株式組入比率および債券組入比率は実質比率を記載しております。

○当期中の基準価額と市況等の推移

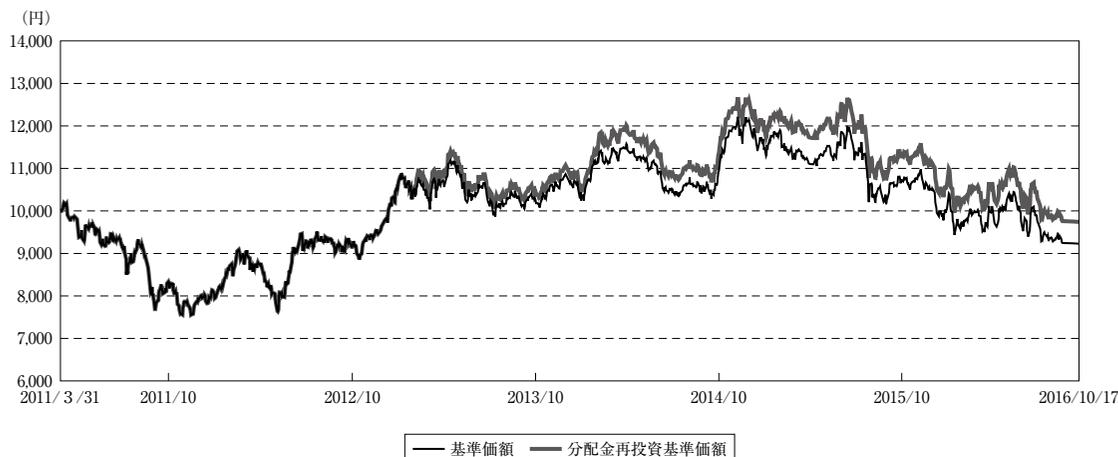
| 年月日 | 基準価額 | | 株組入比率 | 債券組入比率 |
|----------------------|--------------------|--------|-----------|-----------|
| | 騰落率 | 騰落率 | | |
| (期首) 2016年3月7日 | 円 9,808 | % — | % 43.5 | % 48.1 |
| 3月末 | 9,989 | 1.8 | 46.0 | 48.0 |
| 4月末 | 10,035 | 2.3 | 45.0 | 48.9 |
| 5月末 | 10,411 | 6.1 | 43.5 | 46.1 |
| 6月末 | 9,733 | △0.8 | 43.8 | 45.0 |
| 7月末 | 9,677 | △1.3 | 46.2 | 45.1 |
| 8月末 | 9,344 | △4.7 | 32.3 | 36.6 |
| 9月末 | 9,239 | △5.8 | — | — |
| (償還時) 2016年10月17日 | (償還価額) 9,229.99 | △5.9 | — | — |

(注) 騰落率は期首比です。

設定来の運用実績

設定来の基準価額等の推移

(2011年3月31日～2016年10月17日)



- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なりますので、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 分配金再投資基準価額は、設定日（2011年3月31日）の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

設定来の投資環境

(2011年3月31日～2016年10月17日)

(株式市場)

2011年7月に欧州中央銀行（ECB）が利上げを実施したことや8月に米国の国債格付けが引き下げられたことなどから、9月にかけて急落する展開となりました。11月から2012年3月にかけては、欧米の金融緩和策の継続を好感して反発しました。欧州債務問題が再び深刻化したことなどから調整する局面もありましたが、6月以降、2013年にかけては、米国で量的緩和第3弾（QE3）が発表されたことや「財政の崖」問題を回避する法案が米連邦下院で可決したことなどから上昇基調が継続しました。その後も米連邦準備制度理事会（FRB）のイエレン議長が景気回復の支援に積極的な姿勢を示したことやECBがマイナス預金金利導入など追加金融緩和策を発表したことが上昇要因となり、2014年7月にかけて上昇する展開となりました。2014年10月には、国際通貨基金（IMF）が世界経済の成長率見通しを引き下げたことから、投資家のリスク回避姿勢が強まり、反落しましたが、欧州で量的金融緩和策が導入されたことなどから反発し、世界の株式市場は高値圏で推移しました。しかし、2015年8月には、中国が事実上の通貨切り下げに踏み切ったことから、中国景気に対する警戒感が強まったことに加え、12月に米国で利上げが実施されたことなどから、調整局面となりました。2016年に入ると中国の金融市場の混乱や原油価格の低迷などが嫌気されて下落基調が強まりましたが、2月以降、原油価格が反発基

調となったことや米ドル高の調整から米国株式市場を中心に上昇に転じました。6月下旬には、英国の欧州連合（EU）離脱が決定し、先行き不透明感が高まり、一時的に急落しましたが、7月以降は、米国企業の業績回復への期待が強まったことに加えて、英国の新首相が決まったことからEU離脱決定後の政局に対する不透明感が後退し、戻りを試す展開となりました。9月以降は、米国の利上げ観測の高まりなどから上値の重い展開となりました。

（アグリカルチャー（農作物）市場）

2011年は各地で農作物が豊作となったことから一旦は下落しましたが、2012年には主要な穀倉地帯である米国中西部地域が記録的な干ばつに見舞われ、トウモロコシなどが大凶作となったことを受けて、需給引き締め観測が強まり、急反発する展開となりました。しかしその後、2016年にかけては、好天などを背景に米国産穀物が4年連続の豊作となり、その他の地域でも農作物が概ね良好な出来となったことを受けて、世界的に供給過剰感が強まったことから、長期にわたる価格の下落基調が続きました。

設定来の当ファンドのポートフォリオ

（2011年3月31日～2016年10月17日）

当ファンドは、「農業・食糧関連株マザーファンド」および「アグリカルチャー・インデックスマザーファンド」（以下、マザーファンドといいます。）の受益証券を主要投資対象とし、マザーファンドの受益証券への投資を通じて、世界の農業・食糧関連の企業の株式（DR（預託証券）、株式の値動きに価格が連動する債券を含みます。）およびブルームバーグ・アグリカルチャー（農作物）インデックスの円換算後の騰落率に価格が連動するユーロ円建て債券に実質的に投資しました。

設定来「農業・食糧関連株マザーファンド」および「アグリカルチャー・インデックスマザーファンド」の組入比率をそれぞれ40～50%程度とし、概ね同水準の組入比率となるように運用しました。2016年9月に繰上償還が決定したことから、それぞれのマザーファンドが組入れをゼロとしたことにより、実質的な組入比率をゼロとしました。

設定来の当ファンドのベンチマークとの差異

（2011年3月31日～2016年10月17日）

当ファンドはベンチマークおよび参考指数がないため、本項目は記載していません。

○1万口当たりの費用明細

(2016年3月8日～2016年10月17日)

| 項 目 | 当 期 | | 項 目 の 概 要 |
|--|------------------------------|--|---|
| | 金 額 | 比 率 | |
| (a) 信 託 報 酬 (投 信 会 社) (販 売 会 社) (受 託 会 社) | 95 (45) (45) (5) | 0.974 (0.464) (0.464) (0.046) | (a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 委託した資金の運用の対価 交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価 運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価 |
| (b) 売 買 委 託 手 数 料 (株 式) | 6 (6) | 0.065 (0.065) | (b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料 |
| (c) 有 価 証 券 取 引 税 (株 式) | 0 (0) | 0.001 (0.001) | (c) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金 |
| (d) そ の 他 費 用 (保 管 費 用) (監 査 費 用) (そ の 他) | 34 (34) (1) (0) | 0.353 (0.344) (0.008) (0.001) | (d) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用 その他は、金銭信託支払手数料 |
| 合 計 | 135 | 1.393 | |
| 期中の平均基準価額は、9,775円です。 | | | |

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額において基準価額は円未満切捨て、その他は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2016年3月8日～2016年10月17日)

○売買及び取引の状況とは、ファンドが購入・売却した有価証券の数量および金額です。

親投資信託受益証券の設定、解約状況

| 銘 柄 | 設 定 | | 解 約 | |
|------------------------|---------|---------|---------------|---------------|
| | 口 数 | 金 額 | 口 数 | 金 額 |
| アグリカルチャー・インデックスマザーファンド | 千口 — | 千円 — | 千口 177,580 | 千円 103,564 |
| 農業・食糧関連株マザーファンド | 6,335 | 10,000 | 73,198 | 110,592 |

(注) 口数・金額の単位未満は切捨てです。

○株式売買比率

(2016年3月8日～2016年10月17日)

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

| 項 目 | 当 期 |
|-------------------|-----------------|
| | 農業・食糧関連株マザーファンド |
| (a) 期中の株式売買金額 | 123,417千円 |
| (b) 期中の平均組入株式時価総額 | 96,006千円 |
| (c) 売買高比率(a)/(b) | 1.28 |

(注) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均です。

○利害関係人との取引状況等

(2016年3月8日～2016年10月17日)

利害関係人との取引状況

<農業・食糧関連オープン>

該当事項はございません。

<農業・食糧関連株マザーファンド>

| 区 分 | 買付額等 A | うち利害関係人 との取引状況B | $\frac{B}{A}$ | 売付額等 C | うち利害関係人 との取引状況D | $\frac{D}{C}$ |
|-----|-----------|--------------------|---------------|-----------|--------------------|---------------|
| | 百万円 | 百万円 | % | 百万円 | 百万円 | % |
| 株 式 | 16 | — | — | 107 | 2 | 1.9 |

平均保有割合100.0%

※平均保有割合とは、マザーファンドの残存口数の合計に対する当該ベビーファンドのマザーファンド所有口数の割合です。

<アグリカルチャー・インデックスマザーファンド>

該当事項はございません。

売買委託手数料総額に対する利害関係人への支払比率

| 項 目 | 当 期 |
|-----------------|-------|
| 売買委託手数料総額(A) | 141千円 |
| うち利害関係人への支払額(B) | 3千円 |
| (B)/(A) | 2.7% |

(注) 売買委託手数料総額は、当ファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものです。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは岡三証券です。

○組入資産の明細

(2016年10月17日現在)

有価証券等の組入れはございません。

親投資信託残高

| 銘柄 | 柄 | 期 | 首(前期末) |
|------------------------|---|---|---------------|
| | | 口 | 数 |
| アグリカルチャー・インデックスマザーファンド | | | 千口 177,580 |
| 農業・食糧関連株マザーファンド | | | 66,862 |

(注) 口数の単位未満は切捨てです。

○投資信託財産の構成

(2016年10月17日現在)

| 項目 | 償還時 | |
|--------------|---------------|------------|
| | 評価額 | 比率 |
| コール・ローン等、その他 | 千円 179,064 | % 100.0 |
| 投資信託財産総額 | 179,064 | 100.0 |

(注) 評価額の単位未満は切捨てです。

○資産、負債、元本及び償還価額の状況 (2016年10月17日現在)

| 項目 | 償還時 |
|-----------------|--------------|
| | 円 |
| (A) 資産 | 179,064,136 |
| コール・ローン等 | 179,064,136 |
| (B) 負債 | 318,303 |
| 未払信託報酬 | 315,445 |
| 未払利息 | 228 |
| その他未払費用 | 2,630 |
| (C) 純資産総額(A-B) | 178,745,833 |
| 元本 | 193,657,763 |
| 償還差損金 | △ 14,911,930 |
| (D) 受益権総口数 | 193,657,763口 |
| 1万口当たり償還価額(C/D) | 9,229円99銭 |

- (注) 計算期間末における1口当たり純資産額は0.922999円です。
(注) 純資産総額が元本総額を下回っており、その差額は14,911,930円です。
(注) 当ファンドの期首元本額は227,002,840円、期中追加設定元本額は20,847,268円、期中一部解約元本額は54,192,345円です。

○損益の状況 (2016年3月8日～2016年10月17日)

| 項目 | 当期 |
|------------------|---------------|
| | 円 |
| (A) 配当等収益 | △ 2,580 |
| 受取利息 | 16 |
| 支払利息 | △ 2,596 |
| (B) 有価証券売買損益 | △ 9,344,306 |
| 売買益 | 2,131,141 |
| 売買損 | △ 11,475,447 |
| (C) 信託報酬等 | △ 2,112,135 |
| (D) 当期損益金(A+B+C) | △ 11,459,021 |
| (E) 前期繰越損益金 | △ 21,557,355 |
| (F) 追加信託差損益金 | 18,104,446 |
| (配当等相当額) | (22,757,831) |
| (売買損益相当額) | (△ 4,653,385) |
| 償還差損金(D+E+F) | △ 14,911,930 |

- (注) 損益の状況の中で、(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額、監査費用を含めて表示しています。(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

○投資信託財産運用総括表

| 信託期間 | 投資信託契約締結日 | 2011年3月31日 | | 投資信託契約終了時の状況 | |
|----------|----------------|--------------|-----------------|--------------|--------------|
| | 投資信託契約終了日 | 2016年10月17日 | | 資産総額 | 179,064,136円 |
| 区分 | 投資信託契約締結当初 | 投資信託契約終了時 | 差引増減または追加信託 | 負債総額 | 318,303円 |
| | | | | 純資産総額 | 178,745,833円 |
| 受益権口数 | 3,544,190,000口 | 193,657,763口 | △3,350,532,237口 | 受益権口数 | 193,657,763口 |
| 元本額 | 3,544,190,000円 | 193,657,763円 | △3,350,532,237円 | 1万口当たり償還金 | 9,229円99銭 |
| 毎計算期末の状況 | | | | | |
| 計算期 | 元本額 | 純資産総額 | 基準価額 | 1万口当たり分配金 | |
| | | | | 金額 | 分配率 |
| 第1期 | 1,073,920,000円 | 939,780,287円 | 8,751円 | 0円 | 0.0000% |
| 第2期 | 417,400,000 | 431,537,614 | 10,339 | 200 | 2.0000 |
| 第3期 | 244,840,000 | 273,821,184 | 11,184 | 200 | 2.0000 |
| 第4期 | 363,735,928 | 418,508,109 | 11,506 | 200 | 2.0000 |
| 第5期 | 227,002,840 | 222,635,644 | 9,808 | 0 | 0.0000 |

○償還金のお知らせ

| | |
|----------------|-----------|
| 1万口当たり償還金（税引前） | 9,229円99銭 |
|----------------|-----------|

＜お知らせ＞

- 当ファンドにつきましては、「アグリカルチャー・インデックスマザーファンド」および「農業・食糧関連株マザーファンド」を主要投資対象として運用を行っております。
- 当ファンドの主要投資対象のひとつである「アグリカルチャー・インデックスマザーファンド」（以下、マザーファンドといいます。）は、ブルームバーグ・アグリカルチャー（農作物）インデックスの円換算後の騰落率に価格が連動するユーロ円建て債券に投資し、当該マザーファンドは、ユーロ円建て債券1銘柄に投資しております。
- 当ファンドは、2014年12月1日に改正された「金融商品取引業等に関する内閣府令」第130条第1項第8号の2に基づき規定された、一般社団法人投資信託協会規則「投資信託等の運用に関する規則」第17条の2に定める「信用リスク集中回避のための投資制限」（1つの発行体への投資が過度に集中しないよう、分散投資を行う。）を遵守する必要があります。
- しかしながら、ファンドの純資産額、金融市場の状況等から新たなユーロ円債の購入、分散投資の実現が困難となっており、運用の基本方針に沿った運用が将来にわたって継続が厳しい状況となっております。また、ファンドの受益権口数が、投資信託約款の繰上償還に関する規定である5億口を下回る状態が継続しております。
- こうしたことから、投資信託契約を解約し、受益者の皆さまからお預かりした運用資産をお返しすることが受益者の皆さまにとって最善であると考え、信託終了（繰上償還）の手続きを行うことといたしました。
- 書面決議の結果、議決権を行使することができる受益者の議決権の3分の2以上の賛成があったことから、2016年10月17日をもって繰上償還となりました。

農業・食糧関連株マザーファンド

マザーファンドの運用報告書につきましては、ベビーファンドの運用報告書と作成対象期間が異なる場合には、データ・コメント等に不一致が生じることがありますのでご了承ください。

農業・食糧関連株マザーファンド

第6期 運用状況のご報告

償還日：2016年10月14日

「農業・食糧関連オープン」の親投資信託「農業・食糧関連株マザーファンド」は、2016年10月14日をもちまして信託約款の規定に基づき、繰上償還となりました。ここに設定来の運用経過および償還内容をご報告申し上げます。

当ファンドの仕組みは次の通りです。

| | |
|--------|---|
| 運用方針 | 世界の農業および食糧に関連する企業の株式（DR（預託証券）を含みます。）に投資します。なお、株式の値動きに価格が連動する債券を組入れることがあります。 |
| 主要投資対象 | 日本を含む世界の取引所上場の株式（DR（預託証券）を含みます。）を主要投資対象とします。 |
| 投資制限 | 外貨建資産への投資割合には制限を設けません。 |

○設定以来の運用実績

| 決算期 | 基準価額 | | 株式組入比率 | 株式先物比率 | 純資産総額 |
|--------------------------|---------------------|-------|--------|--------|--------------|
| | 円 | 騰落率 | | | |
| (設定日) 2011年3月31日 | 10,000 | — | — | — | 百万円 1,700 |
| 1期(2012年3月5日) | 9,208 | △7.9 | 97.2 | — | 462 |
| 2期(2013年3月5日) | 11,851 | 28.7 | 95.9 | — | 203 |
| 3期(2014年3月5日) | 13,941 | 17.6 | 87.9 | — | 132 |
| 4期(2015年3月5日) | 18,003 | 29.1 | 97.6 | — | 204 |
| 5期(2016年3月7日) | 15,825 | △12.1 | 91.6 | — | 105 |
| (償還時) 6期(2016年10月14日) | (償還価額) 15,059.04 | △4.8 | — | — | 82 |

(注) 基準価額は1万口当たりです。

(注) 設定日の基準価額は1万口当たりの当初設定元本額です。設定日の純資産総額は当初設定元本総額です。

(注) 当ファンドは、特定の指数を上回るまたは連動する成果を目指した運用を行っておりません。そのため、特定のベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

(注) 株式先物比率は買建比率－売建比率です。

○当期中の基準価額と市況等の推移

| 年月日 | 基準価額 | | 株式組入比率 | 株式先物比率 |
|----------------------|---------------------|------|--------|--------|
| | 円 | 騰落率 | | |
| (期首) 2016年3月7日 | 15,825 | — | 91.6 | — |
| 3月末 | 16,129 | 1.9 | 94.7 | — |
| 4月末 | 15,655 | △1.1 | 94.8 | — |
| 5月末 | 16,220 | 2.5 | 92.2 | — |
| 6月末 | 15,072 | △4.8 | 91.7 | — |
| 7月末 | 15,957 | 0.8 | 92.0 | — |
| 8月末 | 15,450 | △2.4 | 69.3 | — |
| 9月末 | 15,068 | △4.8 | — | — |
| (償還時) 2016年10月14日 | (償還価額) 15,059.04 | △4.8 | — | — |

(注) 騰落率は期首比です。

設定来の運用実績

設定来の基準価額の推移

(2011年3月31日～2016年10月14日)



設定来の投資環境

(2011年3月31日～2016年10月14日)

設定後の世界の株式市場は、2011年7月に欧州中央銀行（ECB）が利上げを実施したことや8月に米国の国債価格付けが引き下げられたことなどから、9月にかけて急落する展開となりました。11月から2012年3月にかけては、欧米の金融緩和策の継続を好感して反発しました。欧州債務問題が再び深刻化したことなどから調整する局面もありましたが、6月以降、2013年にかけては、米国で量的緩和第3弾（QE3）が発表されたことや「財政の崖」問題を回避する法案が米連邦下院で可決したことなどから上昇基調が継続しました。その後も米連邦準備制度理事会（FRB）のイエレン議長が景気回復の支援に積極的な姿勢を示したことやECBがマイナス預金金利導入など追加金融緩和策を発表したことが上昇要因となり、2014年7月にかけて上昇する展開となりました。2014年10月には、国際通貨基金（IMF）が世界経済の成長率見通しを引き下げたことから、投資家のリスク回避姿勢が強まり、反落しましたが、欧州で量的金融緩和策が導入されたことなどから反発し、世界の株式市場は高値圏で推移しました。しかし、2015年8月には、中国が事実上の通貨切り下げに踏み切ったことから、中国景気に対する警戒感が強まったことに加え、12月に米国で利上げが実施されたことなどから、調整局面となりました。2016年に入ると中国の金融市場の混乱や原油価格の低迷などが嫌気されて下落基調が強まりましたが、2月以降、原油価格が反発基調となったことや米ドル高の調整から米国株式市場を中心に上昇に転じました。6月下旬には、英国の欧州連合（EU）離脱が決定し、先行き不透明感が高まり、一時的に急落しましたが、7月以降は、米国企業の業績回復への期待が強まったことに加えて、英国の新首相が決まったことからEU離脱決定後の政局に対する不透明感が後退し、戻りを試す展開となりました。9月以降は、米国の利上げ観測の高まりなどから上値の重い展開となりました。

設定来の当ファンドのポートフォリオ

(2011年3月31日～2016年10月14日)

世界の農業および食糧に関連する企業の株式（DR（預託証券）を含みます。）に投資し、種苗・農業化学、農業関連設備、食品・飲料製造、農産物の活用等の事業等に携わる、農業、食糧関連企業の株式に着目しました。また、銘柄の選定にあたっては農業、食糧関連企業の株式の中から収益力、財務体質、バリュエーション、株式市場の物色動向等を勘案した上で選別を図りました。

設定後、世界的な穀物需要の増加を背景に業績の拡大が見込まれる肥料や種苗、農薬などの農業化学関連銘柄や新興国での売上の伸びが期待される食品関連銘柄の組入比率を高め運用を行いました。その後、肥料価格の低迷が長期化したことや新興国需要の減少などを受けて、肥料や種苗、農薬などの農業化学関連銘柄のウェイトを引き下げました。一方で業績が安定的に拡大している食品関連銘柄の組入比率を高めました。2016年9月に繰上償還が決定したことから、株式を全て売却し、組入比率をゼロとしました。

設定来の当ファンドのベンチマークとの差異

(2011年3月31日～2016年10月14日)

当ファンドはベンチマークおよび参考指数がないため、本項目は記載していません。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2016年 3 月 8 日～2016年10月14日)

| 項 目 | 当 期 | | 項 目 の 概 要 |
|----------------------------|--------------|------------------|--|
| | 金 額 | 比 率 | |
| (a) 売 買 委 託 手 数 料 (株 式) | 21 (21) | 0.137 (0.137) | (a) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料 |
| (b) 有 価 証 券 取 引 税 (株 式) | 0 (0) | 0.002 (0.002) | (b) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金 |
| (c) そ の 他 費 用 (保 管 費 用) | 116 (116) | 0.740 (0.739) | (c) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用 |
| (そ の 他) | (0) | (0.001) | その他は、金銭信託支払手数料 |
| 合 計 | 137 | 0.879 | |
| 期中の平均基準価額は、15,650円です。 | | | |

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額において基準価額は円未満切捨て、その他は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は 1 万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第 3 位未満は四捨五入してあります。

○ 売 買 及 び 取 引 の 状 況

(2016年 3 月 8 日～2016年10月14日)

株式

| | | 買 付 | | 売 付 | |
|-----|--------|----------|-------------------|-----------|----------------------------|
| | | 株 数 | 金 額 | 株 数 | 金 額 |
| 国 内 | 上場 | 千株 — | 千円 — | 千株 3 | 千円 6,782 |
| | 外 | 百株 23 | 千米ドル 117 | 百株 97 | 千米ドル 594 |
| 国 | カナダ | — | 千カナダドル — | 8 | 千カナダドル 95 |
| | ユーロ | — | 千ユーロ — | — | 千ユーロ — |
| | ドイツ | 4 | 8 | 8 | 15 |
| | フランス | — | — | 9 | 64 |
| | アイルランド | — | — | 8 | 61 |
| | スイス | — | 千スイスフラン — | 9 | 千スイスフラン 79 |
| | ノルウェー | 5 | 千ノルウェークローネ 164 | 40 (—) | 千ノルウェークローネ 629 (11) |

(注) 金額は受渡代金です。

(注) 単位未満は切捨てです。

(注) () 内は株式分割、予約権行使、合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

○株式売買比率

(2016年3月8日～2016年10月14日)

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

| 項 目 | 当 期 |
|-------------------|-----------|
| (a) 期中の株式売買金額 | 123,417千円 |
| (b) 期中の平均組入株式時価総額 | 96,006千円 |
| (c) 売買高比率(a)／(b) | 1.28 |

(注) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均です。

○利害関係人との取引状況等

(2016年3月8日～2016年10月14日)

利害関係人との取引状況

| 区 分 | 買付額等 A | | B A | 売付額等 C | | D C |
|-----|--------------------|----------|--------|--------------------|----------|----------|
| | うち利害関係人 との取引状況B | | | うち利害関係人 との取引状況D | | |
| 株 式 | 百万円 16 | 百万円 - | % - | 百万円 107 | 百万円 2 | % 1.9 |

売買委託手数料総額に対する利害関係人への支払比率

| 項 目 | 当 期 |
|-----------------|-------|
| 売買委託手数料総額(A) | 141千円 |
| うち利害関係人への支払額(B) | 3千円 |
| (B)／(A) | 2.7% |

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは岡三証券です。

○組入資産の明細

(2016年10月14日現在)

有価証券等の組入れはございません。

国内株式

| 銘 柄 | 期首(前期末) | |
|------------|---------|-------|
| | 株 数 | |
| 食料品 味の素 | 3 | 千株 |
| 合 計 | 3 | |
| | 株 数 | 銘 柄 数 |
| | 1 | |

外国株式

| 銘 柄 | 期 首(前期末) | |
|------------------------------|----------|----|
| | 株 | 数 |
| (アメリカ) | 百株 | |
| KROGER CO | 16 | |
| MONSANTO CO | 1 | |
| JM SMUCKER CO/THE | 1 | |
| PEPSICO INC | 7 | |
| TYSON FOODS INC-CL A | 11 | |
| TREEHOUSE FOODS INC | 4 | |
| POST HOLDINGS INC | 5 | |
| WHITEWAVE FOODS CO | 9 | |
| MONDELEZ INTERNATIONAL INC-A | 8 | |
| CAL-MAINE FOODS INC | 3 | |
| J & J SNACK FOODS CORP | 2 | |
| CALAVO GROWERS INC | 7 | |
| 小 計 | 株 数 | 74 |
| | 銘 柄 数 | 12 |
| (カナダ) | | |
| AGRIUM INC | 8 | |
| 小 計 | 株 数 | 8 |
| | 銘 柄 数 | 1 |
| (ユーロ…ドイツ) | | |
| K+S AG-REG | 4 | |
| 小 計 | 株 数 | 4 |
| | 銘 柄 数 | 1 |
| (ユーロ…フランス) | | |
| DANONE | 9 | |
| 小 計 | 株 数 | 9 |
| | 銘 柄 数 | 1 |

| 銘 柄 | 期 首(前期末) | |
|------------------------|----------|-----|
| | 株 | 数 |
| (ユーロ…アイルランド) | 百株 | |
| KERRY GROUP PLC-A | 8 | |
| 小 計 | 株 数 | 8 |
| | 銘 柄 数 | 1 |
| ユ ー ロ 計 | 株 数 | 21 |
| | 銘 柄 数 | 3 |
| (スイス) | | |
| NESTLE SA-REG | 9 | |
| SYNGENTA AG-REG | 0.2 | |
| 小 計 | 株 数 | 9 |
| | 銘 柄 数 | 2 |
| (ノルウェー) | | |
| MARINE HARVEST | 32 | |
| YARA INTERNATIONAL ASA | 3 | |
| 小 計 | 株 数 | 35 |
| | 銘 柄 数 | 2 |
| 合 計 | 株 数 | 148 |
| | 銘 柄 数 | 20 |

(注) 株数の単位未満は切捨てです。

(注) 銘柄及び銘柄数は、新株等がある場合、別銘柄として記載しております。

○投資信託財産の構成

(2016年10月14日現在)

| 項 目 | 償 還 時 | |
|-------------------------|--------------|------------|
| | 評 価 額 | 比 率 |
| コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他 | 千円 82,593 | % 100.0 |
| 投 資 信 託 財 産 総 額 | 82,593 | 100.0 |

(注) 評価額の単位未満は切捨てです。

○資産、負債、元本及び償還価額の状況 (2016年10月14日現在)

| 項目 | 償還時 | 円 |
|-----------------|-------------|---|
| (A) 資産 | 82,593,654 | |
| コール・ローン等 | 82,593,654 | |
| (B) 負債 | 995 | |
| 未払利息 | 174 | |
| その他未払費用 | 821 | |
| (C) 純資産総額(A-B) | 82,592,659 | |
| 元本 | 54,845,892 | |
| 償還差益金 | 27,746,767 | |
| (D) 受益権総口数 | 54,845,892口 | |
| 1万口当たり償還価額(C/D) | 15,059円04銭 | |

- (注) 計算期間末における1口当たり純資産額は1.505904円です。
 (注) 当ファンドの期首元本額は66,862,935円、期中追加設定元本額は6,335,860円、期中一部解約元本額は18,352,903円です。
 (注) 当ファンドを投資対象とする投資信託の当期末元本額は、以下の通りです。
 農業・食糧関連株マザーファンド

54,845,892円

○損益の状況 (2016年3月8日～2016年10月14日)

| 項目 | 当期 | 円 |
|------------------|-------------|---|
| (A) 配当等収益 | 994,928 | |
| 受取配当金 | 999,478 | |
| 受取利息 | 89 | |
| 支払利息 | △ 4,639 | |
| (B) 有価証券売買損益 | △ 5,462,880 | |
| 売買益 | 7,167,707 | |
| 売買損 | △12,630,587 | |
| (C) その他費用等 | △ 750,154 | |
| (D) 当期損益金(A+B+C) | △ 5,218,106 | |
| (E) 前期繰越損益金 | 38,947,830 | |
| (F) 追加信託差損益金 | 3,664,140 | |
| (G) 解約差損益金 | △ 9,647,097 | |
| 償還差益金(D+E+F+G) | 27,746,767 | |

- (注) 損益の状況の中で、(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。(G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

<お知らせ>

- ・農業・食糧関連オープンが繰上償還となり、農業・食糧関連株マザーファンドを投資対象とする証券投資信託がなくなることから、投資信託約款の規定に基づき投資信託契約を解約し、2016年10月14日をもちまして繰上償還となりました。

アグリカルチャー・インデックスマザーファンド

マザーファンドの運用報告書につきましては、ペーパーファンドの運用報告書と作成対象期間が異なる場合には、データ・コメント等に不一致が生じる場合がありますのでご了承ください。

アグリカルチャー・インデックスマザーファンド

第9期 運用状況のご報告

償還日：2016年10月14日

「コモディティ・セレクション（食糧）」および「農業・食糧関連オープン」の親投資信託「アグリカルチャー・インデックスマザーファンド」は、2016年10月14日をもって信託約款の規定に基づき、繰上償還となりました。ここに設定来の運用経過および償還内容をご報告申し上げます。

当ファンドの仕組みは次の通りです。

| | |
|--------|--|
| 運用方針 | ブルームバーグ・アグリカルチャー（農作物）インデックスの円換算後の騰落率に価格が連動するユーロ円建て債券に投資し、当該インデックスが表す世界の農作物関連の商品市況の動きを概ね捉えることを目標に運用を行います。 ※当ファンドでは、「Bloomberg Agriculture Index」を「ブルームバーグ・アグリカルチャー（農作物）インデックス」といいます。 |
| 主要投資対象 | ブルームバーグ・アグリカルチャー（農作物）インデックスの円換算後の騰落率に価格が連動するユーロ円建て債券を主要投資対象とします。 |
| 投資制限 | 株式への投資割合は、取得時において、投資信託財産の純資産総額の5%以下とします。 |

○設定以来の運用実績

| 決算期 | 基準価額 | | ブルームバーグ・アグリカルチャー（農作物）インデックス （参考指数） | | 為替レート （米ドル／円） | | 債券 組入比率 | 純資産 総額 |
|--------------------------|--------------------|--------|---------------------------------------|--------|------------------|--------|------------|--------------|
| | | 期中騰落率 | | 期中騰落率 | | 期中騰落率 | | |
| （設定日） 2007年12月27日 | 円 10,000 | % — | ポイント 82.286 | % — | 円 114.49 | % — | % — | 百万円 3,240 |
| 1期（2008年10月15日） | 6,246 | △37.5 | 59.067 | △28.2 | 101.67 | △11.2 | 91.3 | 3,450 |
| 2期（2009年10月15日） | 5,936 | △5.0 | 61.897 | 4.8 | 89.64 | △11.8 | 98.0 | 2,587 |
| 3期（2010年10月15日） | 6,862 | 15.6 | 78.913 | 27.5 | 81.57 | △9.0 | 98.1 | 1,549 |
| 4期（2011年10月17日） | 6,654 | △3.0 | 81.787 | 3.6 | 77.29 | △5.2 | 97.5 | 2,645 |
| 5期（2012年10月15日） | 7,166 | 7.7 | 87.006 | 6.4 | 78.39 | 1.4 | 98.5 | 1,432 |
| 6期（2013年10月15日） | 7,562 | 5.5 | 73.180 | △15.9 | 98.58 | 25.8 | 98.9 | 1,003 |
| 7期（2014年10月15日） | 7,153 | △5.4 | 63.923 | △12.6 | 107.29 | 8.8 | 95.9 | 1,487 |
| 8期（2015年10月15日） | 6,850 | △4.2 | 55.508 | △13.2 | 118.99 | 10.9 | 97.9 | 809 |
| （償還時） 9期（2016年10月14日） | （償還価額） 5,764.07 | △15.9 | 55.847 | 0.6 | 103.88 | △12.7 | — | 676 |

（注）基準価額は1万口当たりです。

（注）設定日の基準価額は1万口当たりの当初設定元本額です。設定日の純資産総額は当初設定元本総額です。

（注）ブルームバーグ・アグリカルチャー（農作物）インデックスは当ファンドの参考指数であり、ベンチマークではありません。ブルームバーグ・アグリカルチャー（農作物）インデックスは当該日前営業日の現地終値です。

（注）「為替レート（米ドル／円）」は、当日の東京の対顧客電信売買相場の仲値です。

○当期中の基準価額と市況等の推移

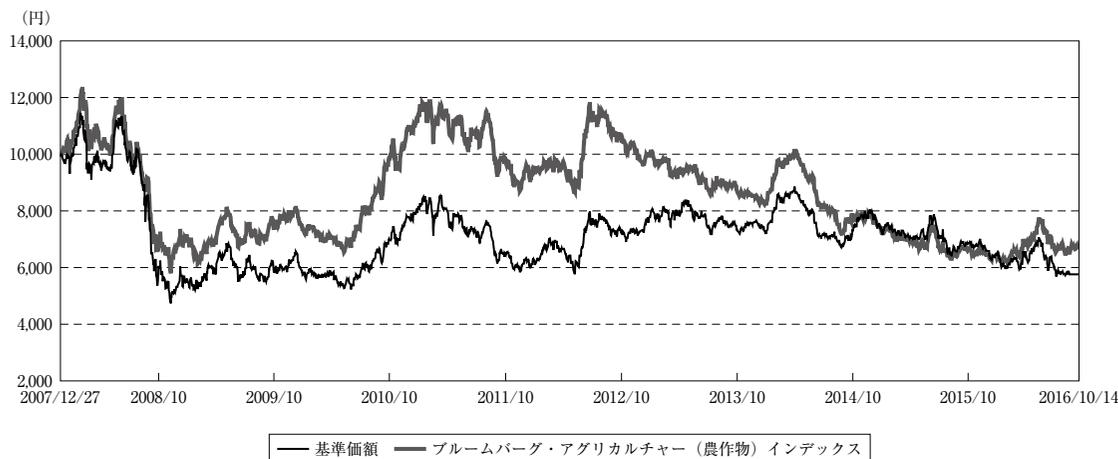
| 年 月 日 | 基 準 価 額 | | ブルームバーグ・ アグリカルチャー・ (農作物)インデックス (参考指数) | | 為 替 レ ー ト (米 下 レ / 円) | | 債 組 入 比 率 |
|----------------------|--------------------|--------|--|--------|--------------------------|--------|-----------|
| | | 騰 落 率 | | 騰 落 率 | | 騰 落 率 | |
| (期 首) 2015年10月15日 | 円 6,850 | % — | ポイント 55.508 | % — | 円 118.99 | % — | % 97.9 |
| 10月末 | 6,849 | △ 0.0 | 54.651 | △1.5 | 120.90 | 1.6 | 98.1 |
| 11月末 | 6,767 | △ 1.2 | 53.389 | △3.8 | 122.82 | 3.2 | 96.2 |
| 12月末 | 6,590 | △ 3.8 | 52.944 | △4.6 | 120.61 | 1.4 | 97.8 |
| 2016年1月末 | 6,409 | △ 6.4 | 52.056 | △6.2 | 120.87 | 1.6 | 98.1 |
| 2月末 | 6,033 | △11.9 | 51.077 | △8.0 | 113.62 | △ 4.5 | 97.6 |
| 3月末 | 6,277 | △ 8.4 | 53.818 | △3.0 | 112.68 | △ 5.3 | 98.3 |
| 4月末 | 6,546 | △ 4.4 | 56.548 | 1.9 | 109.75 | △ 7.8 | 98.1 |
| 5月末 | 6,854 | 0.1 | 59.690 | 7.5 | 110.94 | △ 6.8 | 97.9 |
| 6月末 | 6,397 | △ 6.6 | 60.014 | 8.1 | 102.91 | △13.5 | 98.2 |
| 7月末 | 5,955 | △13.1 | 54.683 | △1.5 | 104.42 | △12.2 | 97.7 |
| 8月末 | 5,741 | △16.2 | 53.298 | △4.0 | 103.18 | △13.3 | 75.8 |
| 9月末 | 5,764 | △15.9 | 54.864 | △1.2 | 101.12 | △15.0 | — |
| (償還時) 2016年10月14日 | (償還価額) 5,764.07 | △15.9 | 55.847 | 0.6 | 103.88 | △12.7 | — |

(注) 騰落率は期首比です。

設定来の運用実績

設定来の基準価額等の推移

(2007年12月27日～2016年10月14日)



(注) 参考指数は、ブルームバーク・アグリカルチャー（農作物）インデックスです。

(注) 参考指数は、設定日（2007年12月27日）の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

設定来の投資環境

(2007年12月27日～2016年10月14日)

アグリカルチャー（農作物）市場は、2008年9月に世界的な金融危機が発生したことを受けて、原油など国際商品市場から投資資金を引き揚げる動きが拡がり、急落する展開となりました。その後は安値圏での推移が暫く続きましたが、2010年にロシアや黒海沿岸地域が深刻な干ばつに見舞われ、ロシア政府が小麦の輸出停止を発表すると、世界的な穀物の需給逼迫懸念が強まり、急騰しました。翌2011年は各地で農作物が豊作となったことから一旦は下落しましたが、2012年には主要な穀倉地帯である米国中西部地域が記録的な干ばつに見舞われ、トウモロコシなどが大凶作となったことを受けて、需給引き締め観測が強まり、急反発する展開となりました。しかし、その後2016年にかけては、好天などを背景に米国産穀物が4年連続の豊作となり、その他の地域でも農作物が概ね良好な出来となったことを受けて、世界的に供給過剰感が強まったことから、長期にわたる価格の下落基調が続きました。

設定来の当ファンドのポートフォリオ

(2007年12月27日～2016年10月14日)

追加設定や解約に対応し、ブルームバーク・アグリカルチャー（農作物）インデックスが表す世界の農作物関連の商品市況の動きを概ね捉える投資成果を目指して、ブルームバーク・アグリカルチャー（農作物）インデックスの円換算後の騰落率に価格が連動するユーロ円建て債券の組入比率を高位に維持しました。2016年9月13日には、当ファンドを主要投資対象とする2本のベビーファンドの繰上償還が決定した為、組入れていたユーロ円建て債券を全て売却し、その後はコール・ローンなどの安定資産による運用を行いました。

設定来の当ファンドのベンチマークとの差異

(2007年12月27日～2016年10月14日)

当ファンドは特定のベンチマークを設けておりませんが、設定来の基準価額の騰落率は、参考指数としているブルームバーグ・アグリカルチャー（農作物）インデックスの騰落率を下回りました。為替レート（ドル／円）が円高ドル安に振れたことやユーロ円建て債券のロールオーバーに係るコストが参考指数の騰落率を下回る主な要因となりました。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2015年10月16日～2016年10月14日)

| 項 目 | 当 期 | | 項 目 の 概 要 |
|----------------------------|---------------|-----------------------|--|
| | 金 額 | 比 率 | |
| (a) そ の 他 費 用 (保 管 費 用) | 円 4 (4) | % 0.064 (0.063) | (a) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用 |
| (そ の 他) | (0) | (0.001) | その他は、金銭信託支払手数料 |
| 合 計 | 4 | 0.064 | |
| 期中の平均基準価額は、6,348円です。 | | | |

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額において基準価額は円未満切捨て、その他は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○ 売買及び取引の状況

(2015年10月16日～2016年10月14日)

公社債

| | | 買 付 額 | 売 付 額 |
|----|----------------|---------|-----------|
| | | 千円 | 千円 |
| 国内 | 社債券（投資法人債券を含む） | 906,343 | 1,531,736 |

(注) 金額は受渡代金です。（経過利子分は含まれておりません。）

(注) 単位未満は切捨てです。

(注) 社債券（投資法人債券を含む）には新株予約権付社債（転換社債）は含まれておりません。

○ 利害関係人との取引状況等

(2015年10月16日～2016年10月14日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○ 組入資産の明細

(2016年10月14日現在)

有価証券等の組入れはございません。

○投資信託財産の構成

(2016年10月14日現在)

| 項 目 | 債 還 時 | |
|-------------------------|---------------|------------|
| | 評 価 額 | 比 率 |
| コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他 | 千円 676,647 | % 100.0 |
| 投 資 信 託 財 産 総 額 | 676,647 | 100.0 |

(注) 評価額の単位未満は切捨てです。

○資産、負債、元本及び償還価額の状況 (2016年10月14日現在)

| 項 目 | 債 還 時 |
|-----------------|----------------|
| | 円 |
| (A) 資産 | 676,647,477 |
| コール・ローン等 | 676,647,477 |
| (B) 負債 | 7,095 |
| 未払利息 | 1,426 |
| その他未払費用 | 5,669 |
| (C) 純資産総額(A-B) | 676,640,382 |
| 元本 | 1,173,893,135 |
| 償還差損金 | △ 497,252,753 |
| (D) 受益権総口数 | 1,173,893,135口 |
| 1万口当たり償還価額(C/D) | 5,764円07銭 |

- (注) 計算期間末における1口当たり純資産額は0.576407円です。
 (注) 純資産総額が元本総額を下回っており、その差額は497,252,753円です。
 (注) 当ファンドの期首元本額は1,181,450,016円、期中追加設定元本額は210,082,029円、期中一部解約元本額は217,638,910円です。
 (注) 当ファンドを投資対象とする投資信託の当期末元本額は、以下の通りです。
 コモディティ・セレクション (食糧) 1,028,917,918円
 農業・食糧関連オープン 144,975,217円

<お知らせ>

- ・「農業・食糧関連オープン」および「コモディティ・セレクション (食糧)」が、2016年10月17日を信託終了日として投資信託契約を解約し、信託を終了することに伴い、アグリカルチャー・インデックスマザーファンドを投資対象とする証券投資信託がなくなることから、投資信託約款の規定に基づき投資信託契約を解約し、2016年10月14日をもって繰上償還となりました。

<当ファンドの参考指数の著作権等について>

ブルームバーグ・アグリカルチャー (農作物) インデックスおよび「ブルームバーグ (Bloomberg®)」は、ブルームバーグ・ファイナンス・エル・ピー (Bloomberg Finance L.P.) およびその関係会社 (以下「ブルームバーグ」と総称します。) のサービスマークです。ブルームバーグ・アグリカルチャー (農作物) インデックスは、ブルームバーグが算出し、配信するものです。ブルームバーグは、岡三アセットマネジメント株式会社の関係会社ではなく、当ファンドを承認し、是認し、レビューしまたは推奨するものではありません。ブルームバーグは、ブルームバーグ・アグリカルチャー (農作物) インデックスに関連するいかなるデータまたは情報の適時性、正確性または完全性を保証するものではありません。